

はじめに

- この取扱説明書は、安全にご使用いただくために重要な注意事項及び取り扱い方法について記載しています。ご使用になる前に必ずお読みになり、十分に理解してからご使用下さい。
- この取扱説明書は、読んだ後も直ぐに確認できるように、大切に保管して下さい。
- △印を付記した項目は、安全上特に重要ですから、必ず守って下さい。

警告

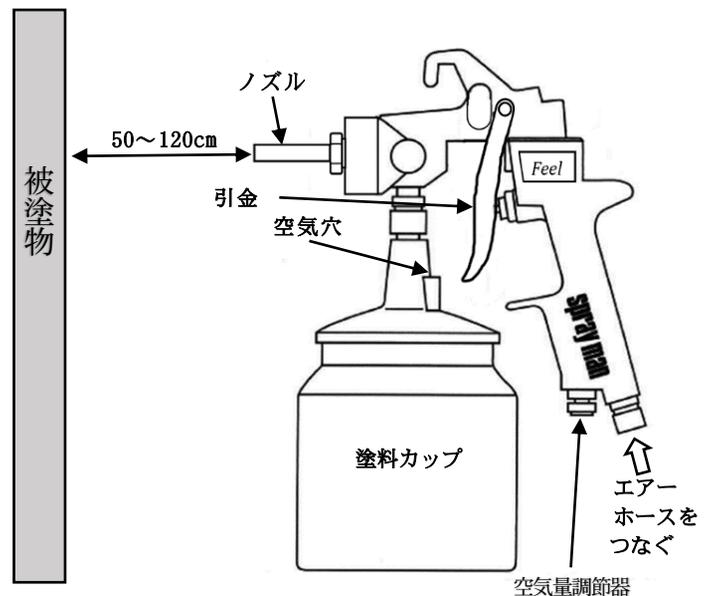
- 吹き付け作業時には塗装ブース等を使用し、換気と火気に十分に注意して下さい。換気が不十分な場合、有機溶剤による中毒や引火の危険性があります。
- 最高使用圧力以上での使用は絶対に避けて下さい(最高使用圧力: 0.69Mpa 7kgf/cm²)。
- 人体に向けてスプレーしないで下さい。
- 吹き付け作業時には適切な服装で、マスク、手袋、眼鏡等の保護具を着用して下さい。
- スプレーガンに塗料カップ、空気ホース、塗料ホースを接続するときには、工具を使用して確実に取り付けて下さい。

使用方法

- 1) スプレーガンの塗料ニップルに工具を使用して、塗料カップを取り付けます。
- 2) コンプレッサーからのエアホースとスプレーガンの空気ニップルを工具を使用して取り付けます(塗料の粘度、性質、吹き付ける場所によって、条件は異なりますが、スプレーガンの手元の圧力は0.2~0.5Mpaが適当です)。
- 3) 塗料カップに吹き付けに適した粘度の塗料を入れ、しっかりとカップのフタを閉めます。
- 4) 引金を引き、空気量調節器で吹付圧を調節して吹き付けて下さい。

使用上の注意

- 実際に吹き付け作業をする前に、別の物に試し吹きをして、吹き付けたパターンが正常かを確認してから吹き付け作業を行ってください。
- スプレーガンと被塗物の距離は、大体50~120cmが適当です。
- エアードライヤーやエアフィルターを通した、きれいな圧縮空気を使用して下さい。
- 空気ホースは耐圧規格に合った物を使用し、古くキズ等の入ったホースは使用しないで下さい。
- 購入後初めて使用される際には、シンナーで塗料回路を洗浄してからご使用下さい。
- 製品の改造は絶対にしないで下さい。
- 一回で厚塗りせず、何回かに分けて積層させて塗り重ねて下さい。中が膿んで乾燥不良を起こします。



使用後の保守、点検

- 1) 吹き付け作業終了時に塗料カップ内に残った塗料を他の容器に移して下さい
- 2) 少量のシンナーを塗料カップに入れ、塗料カップ内面に付着した塗料を落とし、吹き出して下さい。
- 3) 2)の作業を繰り返し行い、塗料回路内を確実に洗浄して下さい。
- 4) ノズルを外し溶剤に浸して洗浄して下さい。
- 5) スプレーガンの各部に付着している塗料の洗浄は、シンナーを浸したブラシで行い、ウエス等で拭き取って下さい。

保守、点検上の注意

- 吹き付け作業が終了したら、速やかに洗浄して下さい。洗浄時には、必ずきれいな溶剤を使用して下さい。
- 洗浄時は、吹き付け作業と同様に換気と火気に十分注意して下さい。
- スプレーガン全体をシンナー等の溶剤に浸さないで下さい。
- 空気回路に溶剤が入らないように注意して下さい。ガンウォッシャーをご使用の場合には、空気ニップルにカバーを付けてご使用下さい。
- カップフタの空気穴が塗料で塞がらないように注意して下さい。塗料の出が悪くなります。

- ◎品質向上のため、予告なく部品、仕様等を変更することがありますのでご了承ください。
- ◎吹き付け作業の再現性を高めるために、スプレーガンの手元に弊社の手元圧力調節器を取り付けることをお勧めします。

Feel Shutz Gun 仕様、分解図

- ノズル口径: 5mm, 6mm 塗料ニップル: G1/4 質量: 360g (ガン単体) 680g (カップセット)

Feel Shutz Gun 分解図

- 1: ガン本体
- 2: ノズル(5mm 6mm)
- 3: 空気弁セット
- 4: 引金セット
- 4A: Eリング
- 4B: 引金ピン
- 5: 空気量調節器
- 6: 塗料カップ(SC1000)
- 6A: カップフタ
- 6B: カップフタパッキング
- 6C: カップ本体

